（別紙）
「肝がん」により和解等をされた場合

≪ 記入例及び記入上の注意 ≫

（別紙）

給付金等支給請求書

留意事項

1．病態について、①～⑦のうち該当するものに○をつけてください。
2．C、D欄にはそれぞれ
　検査費用1：塩基配列検査費用又は塩基配列検査等費用
　検査費用2：遺伝子型検査費用（亜型を判別するための検査を行った場合は、その検査費用を含む。）
　の金額を記載してください。
3．A～Dの請求金額の合計欄をE欄に記載してください。

該当する病態の数字を○で囲んでください。

病態		項目	請求金額
①	死亡、肝がん又は肝硬変（重度）	A 給付金	36,000,000 円
		B 弁護士費用	1,440,000 円
		C 検査費用1	0 円
		D 検査費用2	0 円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 37,440,000 円
②	肝硬変（軽度）	A 給付金	25,000,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円
③	慢性肝炎	A 給付金	12,500,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円
④	除斥期間が経過した慢性肝炎のうち、現在も慢性肝炎である等	A 給付金	3,000,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円
⑤	除斥期間が経過した慢性肝炎のうち、④以外	A 給付金	1,500,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円
⑥	無症候性持続感染者（無症候性キャリア）	A 給付金	6,000,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円
⑦	特定無症候性持続感染者（除斥期間が経過した無症候性キャリア）	A 給付金	500,000 円
		B 弁護士費用	円
		C 検査費用1	円
		D 検査費用2	円
		E 合計額（A＋B＋C＋D）	計 円

AからEまでについては、和解調書等に記載されている金額をご記入ください。

①～⑦の区分については、和解調書等の記載に従ってご記入ください。